



## <取材のお願い>

2023年2月13日  
旭川工業高等専門学校  
国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）  
さくらサイエンスプログラム推進本部

### タイの優秀な学生が旭川高専で工学の実践を体験 ～日・タイ工学分野の架け橋となる人材育成を目指して～

旭川工業高等専門学校では2月20日（月）～2月26日（日）、タイのカセサート大学とコンケン大学から工学部の大学生6名、大学院生4名、教員3名、計13名を招き、日・タイ両国の科学技術の未来を担うグローバル人材の育成を目指した科学技術体験・交流プログラムを行います。

カセサート大学とコンケン大学はタイにおいてトップクラスの大学であり、学生たちは非常に優秀で、専門分野における十分な知識を有しています。しかし、実験や実習の時間が不十分であることや、必ずしも最先端機器や施設が整っていないことなどから、特に技術面や研究面における実践力に課題を抱えています。一方、本校の学生は英語によるコミュニケーションの機会が乏しく、グローバル化の促進に資する取り組みが必要不可欠となっているのが現状です。

本プログラムでは、招へい学生たちに実践力を身につけてもらうため、工学系3分野の特別実習を組み込みました。具体的には、本校が所有する先端機器を利用して、日本の学生のサポートにより、招へい者自身が手を動かしながら実験や実習を行います。また、研究発表会では、両国の学生が互いの国における課題や現状を知り、双方が国際的な視野を拡げることが狙いとして意見交換を行います。さらに、北海道電力石狩湾新港発電所や旭川家具の代表格として東南アジアにも進出している株式会社カンディハウス等を訪問します。本プログラムにより日・タイ双方の学生たちがグローバルなマインドを涵養し、将来的に両国の工学分野の架け橋となって活躍する人材を産み出すきっかけとなることが期待できます。

本プログラムは科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」\*に採択されたものです。

\*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」  
科学技術分野における日本と海外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費をJSTが支援します。



<https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、特別実習や合同研究成果発表会の様子、外部施設を訪問する様子などを取材して頂きたくお願い申し上げます。なお、参加者をはじめ、実施担当の津田勝幸教授へのインタビュー取材もアレンジが可能です。ご希望の方は担当者までご連絡ください。

#### 【実施内容】

- 旭川高専特別実習
- 研究発表会 意見交換会
- 見学：北電石狩湾新港発電所、北海道大学総合博物館、カンディハウス

#### 【研修日程概要】

- |          |    |                    |
|----------|----|--------------------|
| 2月20日(月) | 午前 | 入国                 |
|          | 午後 | オリエンテーション、旭川高専施設見学 |
| 2月21日(火) | 午前 | 旭川高専特別実習①(機械・材料系)  |
|          | 午後 | 研究発表会、意見交換会        |
| 2月22日(水) | 午前 | 北電石狩湾新港発電所見学       |
|          | 午後 | 北大総合博物館見学          |
| 2月23日(木) | 午前 | 旭山動物園訪問            |
|          | 午後 | カンディハウス見学          |
| 2月24日(金) | 午前 | 旭川高専特別実習②(電気・情報系)  |
|          | 午後 | 旭川高専特別実習③(化学・生物系)  |
| 2月25日(土) | 午前 | 羽田へ移動              |
|          | 午後 | 日本科学未来館見学          |
| 2月26日(日) | 午前 | 離日                 |

---

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先  
旭川工業高等専門学校 担当：学生課 本間

■国際青少年サイエンス 交流事業(さくらサイエンスプログラム)に関するお問い合わせ  
JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室  
(担当：田中(禎)、太田)